「問診票を活用した疼痛性疾患治療の体系化の試み」

への対象症例登録に関するお知らせ

【研究の目的】

痛みは主観的な感覚であり客観的な評価は現在のところ不可能です。そのため、痛みを主訴に病院を訪れる方に対しては、詳細な病歴聴取や様々な問診票への回答を利用して患者の状態の把握に努める必要があります。

当科でも初診の患者様に複数の問診票への回答ならびに知覚痛覚定量分析装置 PainVision®による痛みの強さの測定をお願いし、外来診療の参考としています。同時に痛みの強さの標準的な評価方法である Visual analogue scale（VAS）も毎回外来で聴取しています。実際の治療介入は患者の状態を見ながら適宜選択しているのが現状ですが、今回、疼痛性疾患の患者さんを対象に、初診時の問診票への回答が、治療介入による自覚的な痛みの強さの変化や治療経過の予測に利用できないかと考えました。

そこで、これまでは参考資料としてのみ使用していた問診票について、VAS、PainVision®ならびにその後の治療経過との関連性を統計学的に検討することを目的として研究を行います。なお、本研究は医学研究倫理審査委員会にて厳正な審査を行い、藤田医科大学学長の許可を得て行っています。（平成 29 年 6 月 27 日以降（倫理委員会承認日））

【研究の方法】

平成 25 年 2 月 4 日から令和 2 年 3 月 31 日までに藤田医科大学病院麻酔科・ペインクリニック外来を初めて受診した患者さんが対象となります。該当患者様の年齢、性別、身長、体重、主訴、初診時に記載していただいた問診票および受診日に示していただいた痛みの強さ（VAS、PainvVision®）などについて診療録の記載内容等から取得し、解析します。対象期間以降に受診した患者との比較検討も行う可能性があります。**本調査は純粋な調査研究であり、患者様への直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が同定されることは決してありません。**

もしも、ご自身あるいはご家族の情報を本調査に登録されたくない場合は、下記までご連絡ください。撤回を希望される患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、撤回により何ら不利益を被ることはありません。なお、当掲載後１年以内にお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

この研究に関する情報は UMIN 臨床試験登録サイトにて公開しております。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当医師にお申し出下さい。

UMIN 臨床試験登録サイト：http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm

連絡先：藤田医科大学病院
麻酔・侵襲制御医学講座　教授
西田　修
電話 0562-93-2925